



最近、よく耳にする言葉の中に「絶対」という言葉がある。

「人間には、絶対という言葉を使っていいことが二つしかない」ということと、一つには「失敗する」ということと、もう一つは「死ぬこと」だそうです。人間はどんな人でも失敗するものだし、死ぬを免れることはできない。失敗と死ぬことと、この二つ以外は「絶対」ということではないというが、この言葉のもつ凄まじいところだと思ふ。

失敗に気付くと誰もが後悔し反省する。これも人間みな同じです。だが「反省を生かす」というのは、とても難しい。その証拠に、人間は同じような過ちを繰り返すし、他人の過ちを批判している人も同じ過ちを犯すことがある。その上、人間は過ちを認めたくないという気になることもある。プライドもありメンツもあるからなのだろう。

失敗しても「私だけではない」とか「誰かがやれと言ったから」とか、言い訳したり、言い逃れしようとする。こういう点では人間はそんなに立派な生き物ではない。でも、人間は誰もが、立派

になりたいと思っている。これも確かなこと、あなたも私もそういう人間、哀しいこと、素敵で素晴らしいところが、同居している人間なのです。

つまり、みんな同じ、わがままなところもあるし、弱いところもある人間、そして、頑張りもあるし、根気強いし、努力する力もある人間なのではないのです。

だが、その人間の私たちは、自分の弱みを見せたり他人に馬鹿にされ、軽蔑されると思っている。

弱みを見せるか否かではなくて、誰にでも弱みがあるということなのです。

でも、私たちはなぜ自分が馬鹿にされ軽蔑されるのを、そんなに恐れるのか。自分が本当に利口なら、相手に何を言われようと自分は利口なのだから構わないでしょう。自分が自分を馬鹿だつたなど反省しているのなら、馬鹿を馬鹿と言われても怒ることはない。

こう考えると、自分の弱点もそのまま認めている人が、一番気楽で一番強いのかも知れない。自分を実力以上に高く見ていてもらいたいと無理しているから、気持ちがカリカリしているのです。

ありのままの自分をそのまま認めて無理のない人は、やたらに悩んだり、怒ったり、興奮したりしないと思います。

この「ありのままの自分」をそのまま認めることは、大変なことですが、それが真に立派な人になる修行だと言えるのかも知れません。

山梨県知事選挙のお知らせ

1月21日(日)投票日

告示日 1月4日(木)

投票日 1月21日(日)午前7時～午後8時

開票日 1月21日(日)午後9時15分～

都留市役所 3階大会議室

◆投票できる方

昭和62年1月22日以前に生まれた日本国民で、平成18年10月3日以前に都留市の住民基本台帳に記録され、引き続き住所を有している方。

また、都留市の選挙人名簿に登録されている方で、平成18年10月4日以後に県内の他の市町村へ転出された方は、転出先の市町村で発行する「引き続き山梨県内に住所を有する証明書」(居住証明書)があれば本市で投票できます。ただし、2回以上県内の市町村間で住所を移した方は投票できません。

◆投票できない方

- 公民権停止者
- 今年の10月4日以降に転入の届けをされた方
- 投票日(期日前投票日)までに県外へ転出された方

◆期日前投票

投票日に、仕事やその他の理由で投

問合せ 選挙管理委員会



票できない方は、期日前投票をすることができません。た

期間

1月5日(金)～20日(土)
毎日午前8時30分～午後8時

(土・日曜日、祝日も投票できません)

場所

都留市役所 1階ロビー

選挙公報の

配付方法がわかります

今回の選挙から「選挙公報」の配布が郵送から新聞折込へ変更となります。配布は1月9日以降の予定です。新聞未購読者または配布漏れによりお手元に届かない方は、市役所及び各コミュニティセンターに備えてありますのでご利用ください。